

炭焼き体験学習



大星ふれあい釜（佐賀小6年生と炭焼き運営委員会 12月18日）

12月
 議会報告
 いっぱん質問

定例会	2ページ
委員会審査報告・臨時会	3ページ
いっぱい質問	4ページ
両委員会研修視察	10ページ



1億4,862万円 追加補正

第5回平生町議会定例会は、12月12日から20日までの9日間の日程で開かれました。

本定例会では補正予算8件、条例9件の計17件が上程されました。各議案は二つの常任委員会に付託されました。

また、議員より2件議案が提出されました。

本会議では、全会一致、または賛成多数で全てを可決、承認しました。一般質問では、6人の議員が町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

一般会計補正予算8件可決

今回の補正予算は、

人事異動や制度改正に伴うものや平成26年度に開園予定の民間保育園の施設整備、平生中学校の防犯灯設置事業、難聴生徒のための特別支援教室整備、道路橋梁維持のための道路作業員の雇用延長による増額、町内公園の遊具修繕費、簡易水道事業特別会計の補正による繰出金の増額が主なものです。

歳入補正

▽県支出金

9,110万円増額

▽繰入金

3,123万円増額

▽町税

2,080万円増額

歳出補正

▽民生費

1億3,922万円増額

▽諸支出金

882万円増額

▽教育費

437万円増額

特別会計補正予算

主な歳出

▽国民健康保険事業

・一般被保険者

療養給付費

4,000万円増額

・一般被保険者

高額療養費

1,200万円増額

・一般被保険者療養費

120万円増額

▽後期高齢者医療事業

・後期高齢者医療保険

789万円増額

条例9件

平生町参加と協働の まちづくり条例可決!

条例につきましては、「平生町参加と協働のまちづくり条例」と他8件が承認されました。

町長は、「平生町参加と協働のまちづくり条例」について次のように説明しました。

誰もがふるさと平生に誇りと愛着を持ち、心豊かに暮らすことのできる元気なまちを実現するため、本条例を制定するものであります。

内容につきましては本条例の基本原則である「住民の積極的な参加」「自助・共助・公助の理念に基づく協働によるまちづくり」「情報の共有」という3つの考え方のもと、住民と町のそれぞれの権利と役割を明確にし、町政への住民参画の推進に関する事項、及びまちづくりの担い手に関する事項を定めるものであります。

他条例は、「国の地方分権改革推進計画及び地域主権戦略大綱に基づき、地域の自主性を高めるための改革の

推進を図るための関係法律の整備に関する法律等」が制定されたことによるものや「平生町介護保険条例」「平生町都市公園条例」「平生町営住宅条例」「平生町下水道条例」等は法律改正によるもので、条例にてその基準を定めるものです。

議員提出議案2件

議員より議案が2件提出されました。

これは、地方自治法の一部を改正する法律が施行されたことによるものであります。

全会一致により承認されました。内容は、「公聴会の開催」「参考人の出席」等を定めるものでした。

常任委員会審査報告

産業文教委員会

本会議から付託を受けた所管事項について12月17日に審議した結果、付託案件すべて承認しました。主な審議結果は次のとおりです。

一般会計補正予算

質 漁港建設事業費の工事請負費の消波ブロックの個数と設置箇所はどうなっているのか。

答 84個で、神田地区の離岸堤の延長を予定している。

質 公園事業費で、修繕する公園はどこか。

答 曽根児童公園、新市児童公園、ホームタウンの3ヶ所。

質 町内の公園を一括管理していく考えはないのか。

答 総合的に全体でやっていく管理体制については検討させていく。

ただきたい。

質 中学校の学校管理費の防犯灯設置で、人感センサーが働いて点灯した場合、その後の対応はどうなるのか。

答 点灯してすぐに対応することではないが点灯することで犯罪の抑止力になる。

条例

質 平生町都市公園条例の中に面積の基準が規定されているが、町内に該当するものがあるのか。

答 町内の公園は規模的に小さいので政省令に合致していない。新規については、この基準が対象となる。

質 町営住宅の整備で、既存の住宅で水洗化していない場合どうするのか。

答 新規については、水洗化していくことになる。中村団地は、長寿命化計画の中でやっていく。



質 簡易水道事業が田布施・平生水道企業団と統合した場合、平生町水道法施行条例はどうなるのか。

答 廃止になる。

総務厚生委員会

本会議から付託を受けた所管事項について12月18日に審議した結果、付託案件すべて承認しました。主な審議結果は次のとおりです。

一般会計補正予算

質 地域イントラネットの移設は、何ヶ所か。

答 NTT柱の移設費用は8本分である。

質 今後の柱の移設についてある程度先が見とおせているのか。

答 NTTの調査で強度不足が判明したため移設するものであり、光ケーブル提供エリア拡大のたび調査される。

質 障害者福祉費の委託料について、日中一時支援事業と移動支援事業は連動しているサービスなのか。

答 関連のあるものではない。

特別会計補正予算

質 国民健康保険事業の特定健康診査等事業費は、毎年減額となっているが、現状をどのように分析しているのか。

答 過去3年間に約600人の受診者となっており、受診啓発や未受診者に対して勧めているが、伸びていない。

条例

質 まちづくり条例の中に前文を入れるようになった理由は何か。

答 条例の必要性、背景、町の課題、今後の目指すべき姿を住民と共有し、目標を立てたいということ、それらを明確にするため入れた。

質 まちづくり条例の指針の策定は、いつごろを目途にどのような形でされるのか。

答 条例議決後、できるだけ早くとりまとめ取り組んでいきたい。

賛成討論

まちづくり指針の策定になるべく早く取り組んで示していただくことを期待する。



臨時会

平成24年11月26日に第4回平生町議会臨時会が開かれまし

た。議案は1件、衆議院議員選挙及び最高裁判所の裁判官国民審査に係る一般会計の補正予算について

決した。補正額は、854万円の追加でした。



河藤泰明 議員

いっぱん質問

ここが聞きたい



質 妊産婦歯科検診の推進を

答 前向きに取り組む



歯科衛生士による歯みがき指導
(保健センター 1月15日)

質

虫歯や歯周病は妊娠中に悪くなりやすく、特に重度の歯周病は早産や低体重児出産を引き起こすリスクが高くなる。
歯科検診と同時に歯科医師から専門的な指導を受けることが、親子の健康保持につながると考える。
妊婦さんの歯科検診の無料化と、フッ素塗布の再開の検討は出来ないか。

答

妊婦さんの歯科検診は任意で受診していたにしている。
妊娠期の口腔ケアは大変大事な分野で重要だと受けとめている。
受診券もひとつの考え方だと思うが、郡の歯科医師会との協議、ご指導いただきながら効果的な健診ができるよう、前向きに取り組んでいきたい。
フッ素塗布については、賛否両論あり、情報収集に努めて考えてみたい。

町長

質 地域防災力向上に全力を

答 検討をしていく

町内の自主防災組織の活動が非常に盛んになっている。
最初の一步を踏み出した皆さんの二歩目が出せるよう、そして3歩4歩と、歩みが続くようなお手伝いをするのが行政の役目だと思うが、充分に対応できているか。
また、民間施設を利用したさまざまな災害に対応した「山田式避難所」をつくってはどうか。

質

答

今回の宇佐木の合同防災訓練でも、皆さんの意識の高まりを痛感した。
助成の部分も含めてお手伝いしていきたい。
防災リーダーの育成もすっかりやっていく。災害に応じて多様な選択肢の整備が大事。
民間の避難所を活用する場合、どこまで公の支援として整備していけるのか、検討をしていきたい。

町長



ミニ講習会の様子(宇佐木地区 12月2日)



渕上正博 議員

質 国民健康保険 無保険証者の解決対策は

答 無保険状態にはなっていない



町民課窓口

質 国民健康保険料を滞納して「無保険状態」が問題となっている。このような状態だと病気になるっても、医療費を全額負担することになり、医者にかからないことになる。無保険状態は、役所の中への留め置きが直接の原因だとされているが、現在の不景気、これが続かなかぎり国保の滞納は増えると予想される。どのような対策をとるのか。

答 町長

長期にわたって保険料が滞納されると、資格証明書、あるいは短期の保険証で対応している。滞納者とできるだけ折衝しながら納税相談、分納など、短期の被保険者証で済むように指導している。本町では無保険状態にはなっていないと受けとめている。

質 児童・生徒のいじめ 解決方法の考え方は

答 大人が責任をもつ

質

1、いじめ問題は初期の把握が大事だ。どのような対策をとっていくのか。
2、いじめを無くしていくために、いじめ防止条例をつくった自治体もある。
3、不登校について、当町としてどのような方針で臨むのか。
本人の気持ちや尊重しより良い環境で学ぶための体制をつくるべきだと思うが、どう考えているか。

答

教育長

小中学校とも毎週「生活アンケート」を実施し、保護者にも、学期に一度「見守りアンケート」をお願いし早期発見、対応に努めている。
条例の内容、また制定後の対応など、いろいろな検討・検証等、推移を見守りたい。
第三者機関の設置の前に、いろんな形で予防教育等を含めた対策をとっていきたい。



平生町青少年健全育成推進大会
(平生町武道館 12月12日)



細田留美子 議員

質 ひらお産業まつりのこれから

答 効果的な時期を検討していく

質 今年11月3日に初めて「ひらお産業まつり」があり3,000人の参加で平生の元気が発信された。民間主導が成功した良い例だ。これからの商工会等の頑張りに期待したい。実行委員会が主体的にいっきぎと活動できる環境づくりが必要だと考える。来年以降の予定と課題を質問する。



漁業ブース(佐賀漁協前)

答 町長 今回のまつりの目的は個々の産業の活性化、6次産業化の推進などだ。それが町の活力に繋がっていく。時期は農産物や海産物の品ぞろえなどを考慮すれば11月中下旬が望ましい。文化展とも協議検討していきたい。町としては共通部分の費用など必要な部分の支援はしっかりしていく。

質 障がい者優先推進法への取組

答 関係各課で協議していく



NPO法人つばさ ワークショップ未来

質 経済的自立は生活の基盤のひとつである。山口県工賃計画では障害者就労支援施設のB型の平均賃金の月額が1万5千円弱とある。これからの支援策として就労支援施設等から物品や作業委託を町が優先的に調達をするというのが今回の法律だ。調達方針の策定や実績の公表が必要とある。来年4月施行に向けて準備や取組はどうか。

答 町長 障がい者の就労支援については地方公共団体の責務として優先的な物品の調達が求められている。それに向けて基本方針と調達方針の策定と実施の公表の準備が必要となる。まだ具体的な方針は出来上がっていないが柳井圏域で共同受注システムづくりを検討しているところだ。会計規則の見直しなど含めて関係各課で協議していく。



平岡正一 議員

質 計画的な公共事業で町の活力を

答 計画を立てて財源の確保を図る

質 町が発注する公共事業は町の活力を生み出す役割を持っている。学校の耐震化、公共下水道の整備、公共施設の耐震・老朽化対策など、一定水準の投資的経費の確保が必要と思う。

特に町が管理する橋梁の調査結果を見ると早急な対策が必要な橋もある。国の制度や町財政の研究をすすめ計画をつくるべきだ。



古万屋橋

答 町長 これからも財政状況は大変厳しいが、毎年度の予算で状況を見ながら、公共施設の整備に対応する。

公共下水道・町営住宅・海岸保全の施設・橋梁関係等の整備を、中長期的な計画を持って財源を確保しながら対応する。

15m以上の橋梁について、長寿命化修繕計画を立てて、来年度から対応する。

質 障がい者への合理的配慮の推進を

答 基本は共生社会の実現を目指して



障がい者用トイレ（平生町体育館）

質 障がい者向けの駐車場やトイレの使用状況を見ると「便利な施設として誰でも使用」している状況が目立ち障がい者は困っている。障がい者は65才になると介護保険に移り経済的な負担が急増する制度でも困っている。障がい者が日常生活、社会生活で共生出来る社会をつくるために、町は責任をはっきりさせて取り組むべきだ。

答 町長 障がい者福祉基本計画を策定して取り組んでいる。共生社会の実現を目指して、バリアフリー化を進めている。各課協力して取り組み、基本方針の決定は健康福祉課である。介護保険は、国・県に要望があったことを伝えていきたい。

答 教育長 「どなたでもご利用できます」とあるが、学校という特殊な環境であり、今まで苦情はない。



久保俊一 議員

質 第四次平生町総合計画でまちは変わるのか

答 将来像の実現は毎年度の積み重ね

第四次平生町総合計画の基本構想である。本町が目指すべき、まちの将来像の実現に向けての考え、これからの平生町の活性化の考え及び目標・計画はあるのか。岩国錦帯橋空港の開港で、平生町独自のPRしているのか。基本計画に示された施策52事業の、手付かず・見直し・継続・完了のそれぞれの事業の件数及び評価は。

質

町の将来像の実現に向けての基本目標

1. みんなの笑顔が輝くまち (育児・教育・文化・生きがい)
2. 快適で住みよいまち (防災・安全・環境・都市基盤)
3. 健やかで安心して暮らせるまち (福祉・医療・健康・保険)
4. 活気に満ちた明るいまち (産業)
5. 一人ひとりが主役のまち (協働・コミュニティ・行財政)

答 町長

計画を着実に実践して、毎年度点検しながら積み重ねていくことが将来像の実現につながる。商業施設メガマートの跡地活用は、今も担当の方を含めて検討されている。空港開港したが近隣の市町と連携して広域的な観光ルートの構築を計る。

答 総合政策課長

今年度の計画書の110事業のうち、継続80事業・見直し21事業・手付かず9事業・完了事業はない。

質 自治会の基盤・機能の衰退止まるか

答 協働のまちづくり条例 住民と信頼関係

質

自治会の活動、基盤強化と活性化を支援する制度、組織の再編や地域間で支え合う仕組みづくりの構築を図りますとあるが、その考え及び取組について。まちづくり活動に取り組む意欲のある活動団体に対して、その活動内容などに応じた適切な行政支援を行い、公共サービスの新たな担い手として、地域の課題に的確に対応できる制度の構築の考え。

答 町長

本町のコミュニティの活動支援強化は、協働のまちづくり条例が一番と思う。町の職員が問題意識を持って、住民と信頼関係を築くことが大事と思う。自治会の基盤強化に向けて、基準を改正して統合費の助成や統合に向けた取り組みを支援している。各活動団体の活動がしっかりと、地域に定着をしていくように支援する。

平生町と田布施町の比較

	平生町	田布施町
人口	13,000人	16,206人
世帯数	5,676世帯	6,985世帯
自治会数	145自治会	73自治会
(1自治会の平均)		
人口	90人	222人
世帯数	39世帯	96世帯

(平成24年10月末日現在)



村中仁司 議員

質 遊休農地対策、農業支援について問う

答 町としてできるだけへの対応はしていきたい

農業就業者数

単位：万人、歳

	平成19年	20年	21年	22年	23年	24年(概数)
農業就業者	311.9	298.6	289.5	260.6	260.1	251.4
うち65歳以上	185.0	180.3	177.8	160.5	157.7	151.6
平均年齢	64.0	64.7	65.3	65.8	65.9	...
基幹的農業従事者	202.4	197.0	191.4	205.1	186.2	177.8
うち65歳以上	117.8	117.2	115.7	125.3	110.0	106.0
平均年齢	64.6	65.2	65.7	66.1	65.9	...

(資料：農林業センサス、農業構造動態調査)

質

遊休農地が年々増えている。農家の高齢化、後継者不足、農産物の価格の低迷、鳥獣被害などにより離農、相続により農地の分散により、土地持ちの非農家が増え地域との連携がなくなり、用水路の管理、草の管理がないなど、遊休農地が増えている主な原因である。今、何か手を打たないと手遅れになる。町として遊休農地対策、農業支援は何ができるのか。

答 町長

町全体の農地570haの内260haが遊休農地化している。平成20年度から平生農業体験農園を実施し108名の方が農園体験をした、その中から生産から販売までやっていくファーム大星という営農団体もできた。何とかすそ野が広がっていくように町として支援策をとり、結果的に一定の荒廃農地が減少していくように取り組んでいきたい。

一部事務組合レポート

(田布施・平生水道企業団)

『広域水道』柳井地域広域水道企業団の視察研修を実施した。

6月5日柳井市日積の浄水場施設を、有志の議員(平生町8名・田布施町2名)で視察研修を行った。

8月2日弥栄ダムを有志の議員9名で視察研修を行った。柳井市日積の貯水槽から、数箇所の中継所を経て弥栄ダムに至るまでのルートを見学した。

弥栄ダムから一日約5,000トン(総水量の65%にあたる)の水を購入している。これにより渇水期の水不足が解消できている。しかし建設資金の負担金返済や責任水量への支払いが経営を圧迫していて、高い水道料金となっている。



弥栄ダム



日積浄水場



『一部事務組合』とは地方自治法に基づき複数の普通地方公共団体や特別区が、事務の一部を共同で処理するために設ける特別地方公共団体。

委員会行政視察研修報告

10月1日～3日

総務厚生常任委員会

総務厚生常任委員会は議会閉会中の所管事務等の調査事項9件のうち高齢者、障がい者医療福祉、災害に強いまちづくりを主テーマに香川県まんのう町、徳島県美波町と兵庫県神戸市を訪問し視察研修を実施した。



デマンド乗り合いタクシー (まんのう町)

まんのう町では、高齢者のデマンド乗り合いタクシーの実施についてこれまでの経緯、今後の取組み目標の説明を受けた。

運営にするにあたってはかなりの経費を必要とする。財源と人材確保の為に、全町的な体制が必要と思われる。

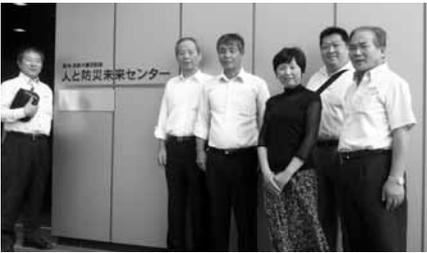
徳島県美波町では、災害に強い町づくり、避難タワーについて研修をした。瀬戸内海に

位置する平生町では、津波を含め自然災害に対する取組みを進めていかなければならない。

神戸市では、阪神淡路大震災の経験を語り継ぎその教訓を未来に生かす事で地域防災力の向上や防災政策の開発支援を図り、安全で安心な市民協働・減災

社会の実現に寄与しているという事で、「人と防災未来センター」と防災未来センター」を視察した。あつては困る災害ではあるが知っておくことはとても大切なことと思う。

今回の研修を通して感じた事は、「まずは住民一人ひとりが自分の事として考える事」その一助となるようこれからも真摯に取り組んでいきたい。



人と防災未来センター (神戸市)

産業文教常任委員会

今回の視察目的は、産業振興・観光振興・公民館活動の充実について主テーマに3日の日程で岡山県矢掛町・岡山県新見市・鳥取県大山町・鳥根県出雲市を訪問し視察研修を実施した。

農者に応募するために、準備資金が必要と説明があった。



下水処理場 (矢掛町)

矢掛町では、農業集落排水の現状と課題について説明を受けた。施設投資に問題があり又汚泥から生成する肥料についても、単純に汚泥処理する方が安くできる。これからの検討課題だと説明があった。

大山町では、シート1サミットについて説明を受けた。海(シー)から頂(サミット)が語源であり、この競技はカヌー6キロ・自転車23.5キロ・登山3.5キロとなっている。大山の自然の素晴らしさを伝える為に計画された。

新見市では、新規就農業者への取組みについての説明を受けた。新規就農業者への農業施設に対する支援と住宅確保に対する支援がある。しかし、新規就

この事業は民間が事務局をし、大山町や観光協会などが協同する形で開催されている。毎年盛況になっていると説明を受けた。

出雲市では、公民館の位置づけについて視察研修をした。教育委員会の所管が広範囲な為、学校教育に専念するため公民館を市長部局におくことにした。しかし予算的にいえば以前の公民館時の7倍を超える金額となり、財政を圧迫している。地域に合ったまちづくりはどうあるべきか参考になった。



観光協会 (大山町)

議会 研究会 報告

平成24年度 山口県自治研修会

山口県町自治研修会が、9月27日山口市のセントコア山口で開催されました。

講師に、時事通信社解説委員の田崎史郎氏を迎え「揺れ動く政局・政治情勢」と題した講演を聴きました。

現在の政治家のあり方について橋下大阪市長の例を取って、変わりつつある政局・政治情勢を熱く講演されました。政治は川の流れる様で同じ流れはないと、強く思いました。



講師の田崎史郎氏

平成24年度 熊毛郡町議会議員合同研修大会



国道188号 平生バイパス

熊毛郡町議会議員合同研修大会が10月26日「山口県の道路整備について」と題して田布施町商工会館で開かれました。

講師は山口県土木建築部道路建設課・藤山一郎氏を迎え、お話を聞きました。

田布施町、平生町、上関町をはじめとした道路事業として、幹線

道路網の整備・自転車歩行者の安心安全な交通環境を確保、生活道路の整備等の事業がされている。平生町での道路改良率は一般国道100%県道68.6%町道46.1%となっており町道の改良が必要と考えられる。

平成24年度 山口県町議会実務研修会

町議会実務研修会が11月28日「地方行政をめぐる動向について」と題して田布施町商工会館で開催しました。

講師は全国町村議会議長会事務総長・江端康二氏を迎え、社会保障と税一体改革・地方分権・地方自治法の改

正・条件不利地域対策・大都市問題と道州制・地方公務員制度改革・来年度予算と税制改正について詳しく話して頂きました。

様々な面で厳しい時ではありますが、これからの地方行政政を見守って議員活動をしてまいります。



講師の江端康二氏

熊毛郡議会広報 連絡協議会研修会



熊毛郡議会広報連絡協議会研修会が10月12日、田布施町議員控室で開かれました。

高川田布施町広報委員長の講話を中心に議会広報の編集について、次の内容で意見交換をしました。

(1) 市町村議会広報クリニック
(地方議法人8月号・9月号)

(2) 熊毛郡3町の各議会だより
(平成23年12月及び平成24年3月定例会号)

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

- [字数] 400字以内
- [提出先] 平生町役場議会事務局
議会広報担当者
- [しめ切り] 3月29日(金)

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。



議会の動き

(H24・9/13)
(H24・12/11)

- 24年 9月13日 第3回定例会
- 9月21日 議会広報広聴調査特別委員会 議会運営委員会
- 9月26日 議会広報広聴調査特別委員会 県町自治研修会
- 9月27日 総務厚生常任委員会行政視察
- 10月1日 総務厚生常任委員会行政視察
- 10月3日 産業文教常任委員会行政視察
- 10月10日 10月定例農業委員会総会
- 10月12日 熊毛郡議会広報連絡協議会研修会
- 10月17日 柳井紙工(株)企業訪問
- 10月22日 田布施・平生水道企業団議会 全員協議会
- 10月26日 熊毛郡町議会議員合同研修大会
- 10月31日 郡町議会議長会定例議長・事務局長会議
- 11月8日 県町議会議長会11月定例会
- 11月12日 郡町議会議長会行政視察
- 11月14日 第31回離島振興市町村議会議長全国大会
- 11月15日 第56回町村議会議長全国大会
- 11月16日 産業文教常任委員会
- 11月16日 総務厚生常任委員会
- 11月26日 議会運営委員会
- 11月27日 第4回臨時会
- 12月5日 田布施・平生水道企業団全員協議会 議会全員協議会

編集後記

▼編集後記も一巡し僕の番です。編集後記もですが「議会だより」の編集作業は、特に慣れない一期目の4人にとっては、なかなか大変だと思えます。

▼初めのころは訂正をお願いすることも多く、半分以上、書きかえたこともありましたが、回を重ね、ほぼ原稿のままを掲載するようになっていきました。そのため、それぞれのページに個性があるように感じています。全体として、まとまりがないかもしれませんが、委員長として今後の様々な可能性を感じています。

▼委員からは、より良いものにしようと、たくさんのアイデアや提案があります。実現のために委員一丸となつて取り組んでいる所です。

▼小さなことばかりで見えにくいですが、積み重ねで広報委員会からも、平生町にうねりを起こしたいと思えます。

河藤泰明